

第11課 「しなかつたことがまだあるか」 3月15日 (口語訳)

暗唱聖句

そこでピラトはイエスに言った、「それでは、あなたは王なのだな」。イエスは答えられた、「あなたの言うとおり、わたしは王である。わたしは真理についてあかしをするために生れ、また、そのためにこの世にきたのである。だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」 ヨハネ18：37 (新173ページ)

黙示録12：9 (新398ページ)

9この巨大な龍、すなわち、悪魔とか、サタンとか呼ばれ、全世界を惑わす年を経たへびは、地に投げ落され、その使たちも、もろともに投げ落された。

マタイ4：3 (新4ページ)

3すると試みる者がきて言った、「もしあなたが神の子であるなら、これらの石がパンになるように命じてごらんなさい」。

ヨハネ8：44 (新152～153ページ)

44あなたがたは自分の父、すなわち、悪魔から出てきた者であって、その父の欲望どおりを行おうと思っている。彼は初めから、人殺しであって、真理に立つ者ではない。彼のうちには真理がないからである。彼が偽りを言うとき、いつも自分の本音をはいているのである。彼は偽り者であり、偽りの父であるからだ。

Ⅱ コリント11：3 (新288～289ページ)

3ただ恐れるのは、エバがへびの悪巧みで誘惑されたように、あなたがたの思いが汚されて、キリストに対する純情と貞操とを失いはしないかということである。

Ⅰ ヨハネ3：8 (新378ページ)

8罪を犯す者は、悪魔から出た者である。悪魔は初めから罪を犯しているからである。神の子が現れたのは、悪魔のわざを滅ぼしてしまいうためである。

黙示録12：10 (新398ページ)

10その時わたしは、大きな声が天でこう言うのを聞いた、「今や、われらの神の救と力と国と、神のキリストの権威とは、現れた。われらの兄弟らを訴える者、夜昼われらの神のみまえて彼らを訴える者は、投げ落された。

黙示録13：6 (新399ページ)

6そこで、彼は口を開いて神を汚し、神の御名と、その幕屋、すなわち、天に住む者たちとを汚した。

ヨブ1～2章 (旧697～699ページ)

ご自分の聖書でお開きください。

ゼカリア 3 : 1 ~ 2 (旧1311ページ)

1時に主は大祭司ヨシュアが、主の使の前に立ち、サタンがその右に立って、これを訴えているのをわたしに示された。2主はサタンに言われた、「サタンよ、主はあなたを責めるのだ。すなわちエルサレムを選んだ主はあなたを責めるのだ。これは火の中から取り出した燃えさしではないか」

ユダ : 9 (新384ページ)

9決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることはないためなのである。

ヨハネ12 : 31 (新161ページ)

31今はこの世がさばかれる時である。今こそこの世の君は追い出されるであろう。

ヨハネ14 : 30 (新166ページ)

30わたしはもはや、あなたがたに、多くを語るまい。この世の君が来るからである。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない。

ヨハネ16 : 11 (新168ページ)

11さばきについてと言ったのは、この世の君がさばかれるからである。

使徒行伝26 : 18 (新227ページ)

18それは、彼らの目を開き、彼らをやみから光へ、悪魔の支配から神のみもとへ帰らせ、また、彼らが罪のゆるしを得、わたしを信じる信仰によって、聖別された人々に加わるためである』。

Ⅱ コリント 4 : 4 (新281ページ)

4彼らの場合、この世の神が不信の者たちの思いをくらませて、神のかたちであるキリストの栄光の福音の輝きを、見えなくしているのである。

エペソ 2 : 2 (新302ページ)

2かつてはそれらの中で、この世のならわしに従い、空中の権をもつ君、すなわち、不従順の子らの中に今も働いている霊に従って、歩いていたのである。

I ヨハネ 5 : 19 (新381ページ)

19また、わたしたちは神から出た者であり、全世界は悪しき者の配下にあることを、知っている。

日曜日「勝利者キリスト」

問1. ヨハネ 18 : 37 (新 173 ページ)

そこでピラトはイエスに言った、「それでは、あなたは王なのだ」。イエスは答えられた、「あなたの言うとおり、わたしは王である。わたしは真理についてあかしをするために生れ、また、そのためにこの世にきたのである。だれでも真理につく者は、わたしの声に耳を傾ける」

月曜日 「正しく、義となさる方」

問2. ローマ3：23～26、5：8（新236～237、238ページ）

3:23 すなわち、すべての人は罪を犯したため、神の栄光を受けられなくなっており、3:24 彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。3:25 神はこのキリストを立てて、その血による、信仰をもって受くべきあがないの供え物とされた。それは神の義を示すためであった。すなわち、今までに犯された罪を、神は忍耐をもって見のがしておられたが、3:26 それは、今の時に、神の義を示すためであった。こうして、神みずからが義となり、さらに、イエスを信じる者を義とされるのである。

5:8 しかし、まだ罪人であった時、わたしたちのためにキリストが死んで下さったことによって、神はわたしたちに対する愛を示されたのである。

問3. 創世記3：15（旧4ページ）

わたしは恨みをおく、／おまえと女とのあいだに、／おまえのすえと女のすえとの間に。彼はおまえのかしらを砕き、／おまえは彼のかかとを砕くであろう」。

黙示録12：10～12（新398ページ）

12:10 その時わたしは、大きな声が天でこう言うのを聞いた、「今や、われらの神の救と力と国と、神のキリストの權威とは、現れた。われらの兄弟らを訴える者、夜昼われらの神のみまえて彼らを訴える者は、投げ落された。

12:11 兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。12:12 それゆえに、天とその中に住む者たちよ、大いに喜べ。しかし、地と海よ、おまえたちはわざわいである。悪魔が、自分の時が短いを知り、激しい怒りをもって、おまえたちのところに下ってきたからである」。

火曜日 「私の愛する者の歌」

問4. イザヤ5：1～4（旧947～948ページ）

5:1 わたしはわが愛する者のために、そのぶどう畑についてのわが愛の歌をうたおう。わが愛する者は土肥えた小山の上に、一つのぶどう畑をもっていた。5:2 彼はそれを掘りおこし、石を除き、それに良いぶどうを植え、その中に物見やぐらを建て、またその中に酒ぶねを掘り、良いぶどうの結ぶのを待ち望んだ。ところが結んだものは野ぶどうであった。5:3 それで、エルサレムに住む者とユダの人々よ、どうか、わたしとぶどう畑との間をさばけ。5:4 わたしが、ぶどう畑になした事のほかに、何かなすべきことがあるか。わたしは良いぶどうの結ぶのを待ち望んだのに、どうして野ぶどうを結んだのか。

水曜日 「キリストのぶどう園のたとえ」

問5. マタイ21：33～39（新35ページ）

21:33 もう一つの譬を聞きなさい。ある所に、ひとりの家の主人がいたが、ぶどう園を造り、かきをめぐらし、その中に酒ぶねの穴を掘り、やぐらを立て、それを農夫たちに貸して、旅に出かけた。21:34 収穫の季節がきたので、その分け前を受け取ろうとして、僕たちを農夫のところへ送った。21:35 すると、農夫たちは、その僕たちをつかまえて、ひとりを袋だたきにし、ひとりを殺し、もうひとりを石で打ち殺した。21:36 また別に、前よりも多くの僕たちを送ったが、彼らをも同じようにあしらった。21:37 しかし、最後に、わたしの子は敬ってくれるだろうと思って、主人はその子を彼らの所につかわした。21:38 すると農夫たちは、その子を見て互に言った、『あれはあと取り

だ。さあ、これを殺して、その財産を手に入れよう』。21:39 そして彼をつかまえて、ぶどう園の外に引き出して殺した。

イザヤ 5 : 4 (旧 948 ページ)

5:4 わたしが、ぶどう畑になした事のほかに、何かなすべきことがあるか。わたしは良いぶどうの結ぶのを待ち望んだのに、どうして野ぶどうを結んだのか。

木曜日「神の御名の正しさの証明」

問 6. イザヤ 5 : 3 ~ 4 (旧 948 ページ)

5:3 それで、エルサレムに住む者とユダの人々よ、どうか、わたしとぶどう畑との間をさばけ。5:4 わたしが、ぶどう畑になした事のほかに、何かなすべきことがあるか。わたしは良いぶどうの結ぶのを待ち望んだのに、どうして野ぶどうを結んだのか。

ローマ 3 : 1 ~ 4 (新235~236ページ)

3:1 では、ユダヤ人のすぐれている点は何か。また割礼の益は何か。3:2 それは、いろいろの点で数多くある。まず第一に、神の言が彼らにゆだねられたことである。3:3 すると、どうなるのか。もし、彼らのうちに不真実の者があったとしたら、その不真実によって、神の真実は無になるであろうか。3:4 断じてそうではない。あらゆる人を偽り者としても、神を真実なものとするべきである。それは、／「あなたが言葉を述べるときは、義とせられ、／あなたがさばきを受けるとき、勝利を得るため」／と書いてあるとおりである。

問 7. 黙示録 15 : 3、19 : 1 ~ 6 (新401、405ページ)

15:3 彼らは、神の僕モーセの歌と小羊の歌とを歌って言った、「全能者にして主なる神よ。あなたのみわざは、大いなる、また驚くべきものであります。万民の王よ、あなたの道は正しく、かつ真実であります。

19:1 この後、わたしは天の大群衆が大声で唱えるような声を聞いた、「ハレルヤ、救と栄光と力とは、われらの神のものであり、19:2 そのさばきは、真実で正しい。神は、姦淫で地を汚した大淫婦をさばき、神の僕たちの血の報復を／彼女になさったからである」。19:3 再び声があつて、「ハレルヤ、彼女が焼かれる火の煙は、世々限りなく立ちのぼる」と言った。19:4 すると、二十四人の長老と四つの生き物とがひれ伏し、御座にいます神を拝して言った、「アメン、ハレルヤ」。19:5 その時、御座から声が出て言った、「すべての神の僕たちよ、神をおそれる者たちよ。小さき者も大いなる者も、共に、われらの神をさんびせよ」。19:6 わたしはまた、大群衆の声、多くの水の音、また激しい雷鳴のようなものを聞いた。それはこう言った、「ハレルヤ、全能者にして主なるわれらの神は、王なる支配者であられる。